D00945101A

TASCAM
TEAC Professional Division

CD-160MKII

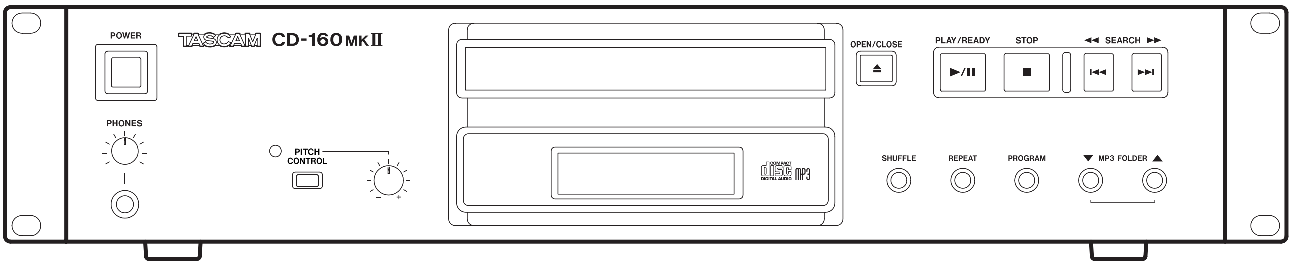
Compact Disc Player

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

取扱説明書

目 次

安全にお使いいただくために 2
第１章　はじめに 4
第２章　各部の名称 6
　フロントパネル 6
　リモコン 7
　ディスプレイ 7
第３章　接続 8
第４章　CD/MP3の再生 9
　再生を一時停止するには 10
　再生を停止するには 10
　聴きたい箇所をすばやく探し出すには 10
　ダイレクト再生 10
　ピッチを変えるには 10
　ヘッドホンで聴くには 11
　ESP（音飛び防止機能） 11
　MP3情報を表示させるには 11
　次のフォルダへスキップするには 11
　MP3 ファイルのディレクトリとトラックについて . . 12
第５章　リピート再生 12
第６章　シャッフル再生 13
第７章　イントロチェック 13
第８章　プログラム再生 14
　プログラムした順序を確認するには 15
　別の曲を追加プログラムするには 15
　プログラムしてある曲を変更するには 15
　プログラムした内容を削除するには 15
第９章　サーチモード（MP3のみ） 16
　曲名によるサーチ 16
　特定のフォルダ内の曲をサーチする 17
第１０章　トラブルシューティング 18
第１１章　仕様 19



安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

万一、器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ディスクトレイが閉まるときに手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

第1章　はじめに

このたびは、TASCAM CD-160MKII をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、充分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

構成

本製品の構成は以下のとおりです。

- CD-160MKII 本体　x 1
- RC-162C　×1
- ラックマウントビスキット　×1
- 乾電池（単3）　×2
- 取扱説明書　x 1
- 保証書　x 1

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行なってください。梱包箱と緩衝材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、販売店またはティアック修理センターまでご連絡ください。

設置上のご注意

- 本機の動作保証温度は5゜C～35゜Cです。
- 本機は水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約1 ～ 2 時間放置した後、電源を入れてお使いください。

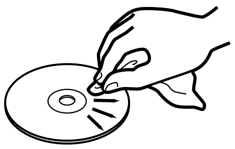
製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。
化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール等で拭かないでください。表面を痛める原因となります。

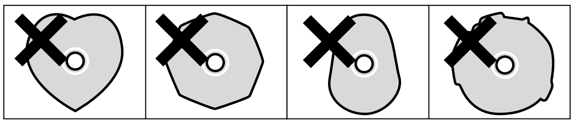
CD（コンパクトディスク）の取扱い

本機はCD-DAフォーマットのCD、およびCD-ROMフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。市販のオーディオCD（8cm／12cm）だけではなく、正しくオーディオやMP3ファイルを記録したCD-R/CD-RWも使うことができます。

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクの汚れは、音飛びの原因となりますので、いつもきれいに清掃し、ケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当る場所や、高温多湿な場所に置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCD のシールなどをはがしたあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出しているものは、使用しないでください。そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCD は、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



- CD-R，CD-RWについては、御使用のメディアや記録状態によっては正しく再生できない場合があります。

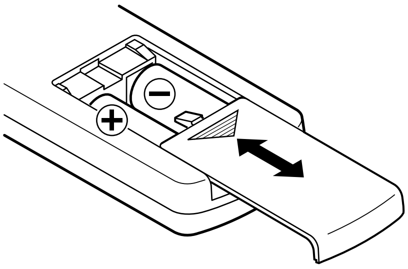
リモコンについて

ご使用上のご注意

- 長い間(一ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤操作させせることがあります。

電池の入れ方

1. 裏側のふたを開ける。
2. ⊕、⊖の向きに注意して、単３電池を２本はめ込む。
3. ふたを閉める。



電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。

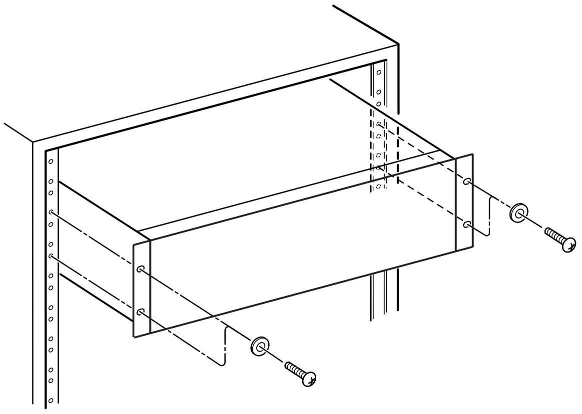
電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

1. 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースの指示どおり正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には、同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。
   種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 乾電池は絶対に充電しないでください。

ラックマウント

- ラックにマウントする場合は、付属のラックマウント用ビスを使って下図のように、取り付けてください。
  なお、本機の上に1U以上のスペースを、後ろに10cm以上のスペースを開けてください。

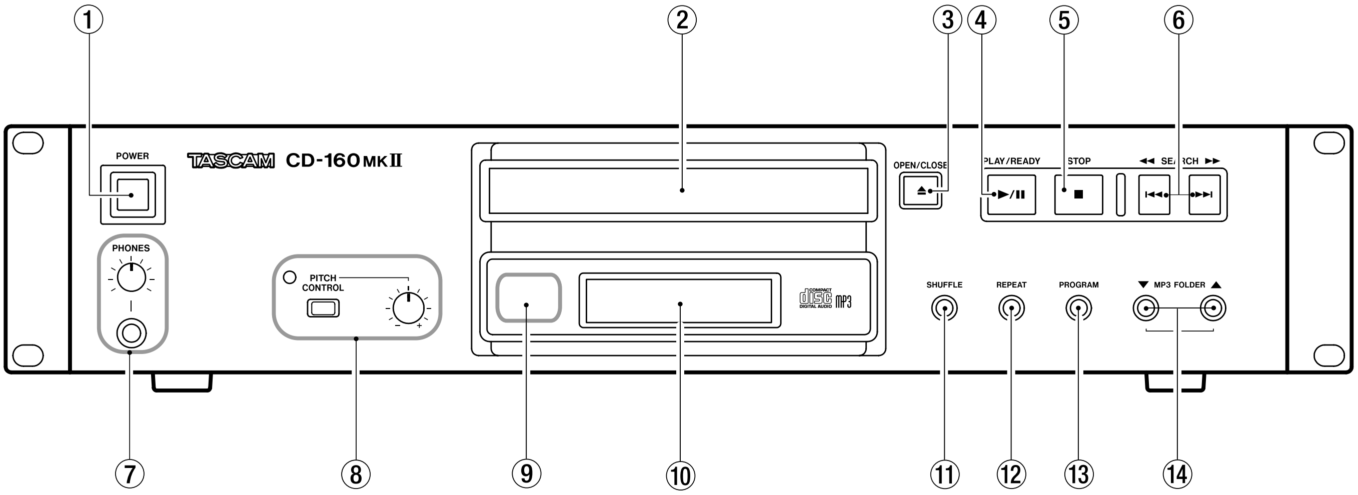


アフターサービスについて

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、保証期間内であっても、使用1,000 時間を超えた合は有償になります。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上ご連絡ください。
  - 型名、型番（TASCAM CD-160MKII）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後5 年です。

第2章　各部の名称

フロントパネル



① POWER スイッチ[POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。

② ディスクトレイ

③ OPEN/CLOSE キー［OPEN/CLOSE］

一度押すとディスクトレイが開き、もう一度押すと閉じます。

④ PLAY/READY キー［▶/II］

CDあるいはMP3の曲の再生スタートまたは一時停止させます。

⑤ STOP キー［■］

CDあるいはMP3の曲の再生を停止します。

⑥ SKIP/SEARCH キー［ I◀◀ / ▶▶I / ◀◀ / ▶▶ ］

短く押すとトラック選択（スキップ）を行ない、押し続けるとサーチを行ないます。MP3再生中に押し続けるとファイルサーチを行ないます。

⑦ PHONES ジャック／PHONES つまみ

ヘッドホンをお使いになるときはヘッドホンプラグをここに差し込み、LEVELつまみで音量を調節します。

⑧ PITCH CONTROL スイッチ／PITCH CONTROL つまみ

このスイッチを押すとピッチコントロールのオン（LEDが点灯）／オフが切り換わり、つまみを回すとピッチを調節できます。

⑨ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。

⑩ ディスプレイ

⑪ SHUFFLE キー［SHUFFLE］

CDあるいはMP3ファイルに収録されている曲をアットランダムに選び出して再生します。

⑫ REPEAT キー［REPEAT］

リピート再生を行います。

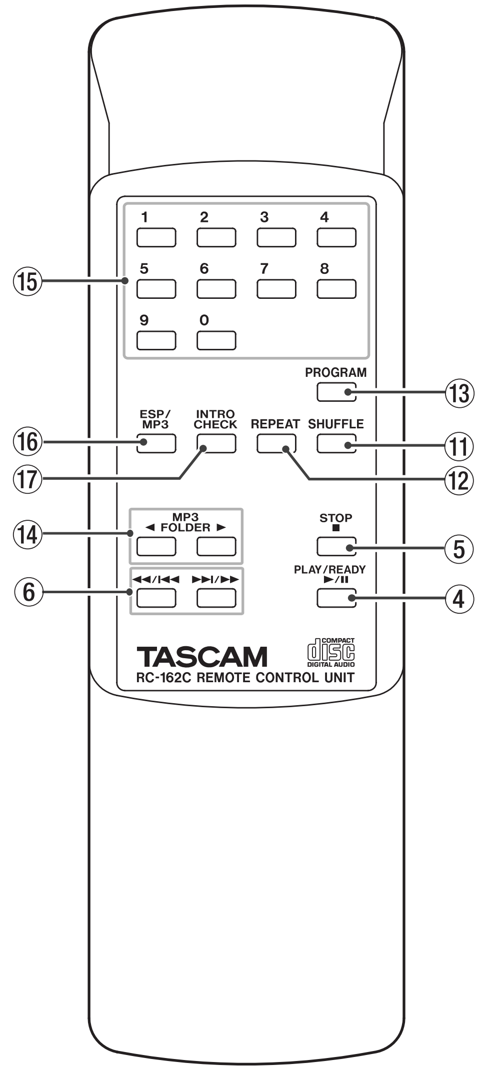
⑬ PROGRAM キー[PROGRAM]

好きな曲を好きな順番にプログラムするときに使います。

⑭ MP3 FOLDER キー(MP3 FOLDER)

MP3ディスクの再生中に押してフォルダを選択します。

リモコン



⑮ **数字キー**

曲を選択するときに使います。

⑯ **ESP/MP3キー**

MP3再生中は曲名によるサーチを行います。

CD再生中に押すと音飛び防止機能（ESP）がオンになります。

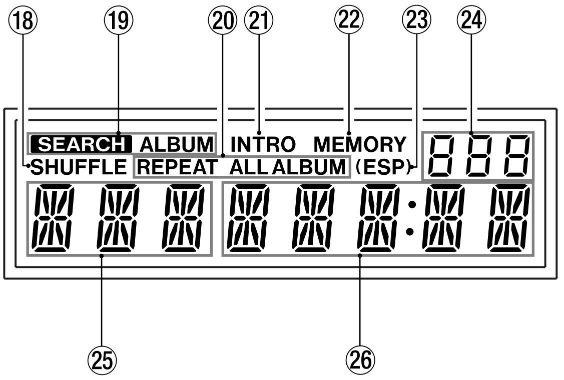
⑰ **イントロチェック (INTRO CHECK)**

押すとイントロチェック機能がオンになります。

ご注意

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

ディスプレイ



⑱ **シャッフル表示部**

シャッフル機能がオンのときに点灯します。

⑲ **サーチ表示部（MP3ディスクのみ）**

サーチ機能がオンのとき、モードにより“SEARCH”または“SEARCH ALBAM”が点灯します。

⑳ **リピート再生モード表示部**

リピート再生機能がオンのときにリピート再生モードを表示します。

CD: REPEAT→REPEAT ALL→オフ

MP3: REPEAT→REPEAT ALL →REPEAT ALBAM→オフ

㉑ **イントロチェック表示部**

イントロチェック機能がオンのときに点灯します。

㉒ **プログラム再生表示部**

プログラム再生機能がオンのときに“MEMORY”が点灯します。

㉓ **ESP表示部**

音飛び防止機能 (ESP) がオンのときに点灯します。

㉔ **ディスク／フォルダー表示部**

CDをセットしてある場合は“Cd”を表示し、MP3ディスクをセットしてある場合はフォルダー総数を表示します。

㉕ **トラック表示部**

CDをセットしてある場合は総曲数を表示し、MP3ディスクをセットしてある場合はファイル総数を表示します。

また、MP3のサーチモードでは時間表示部と併せて曲名やフォルダー名を表示します。

㉖ **時間表示部**

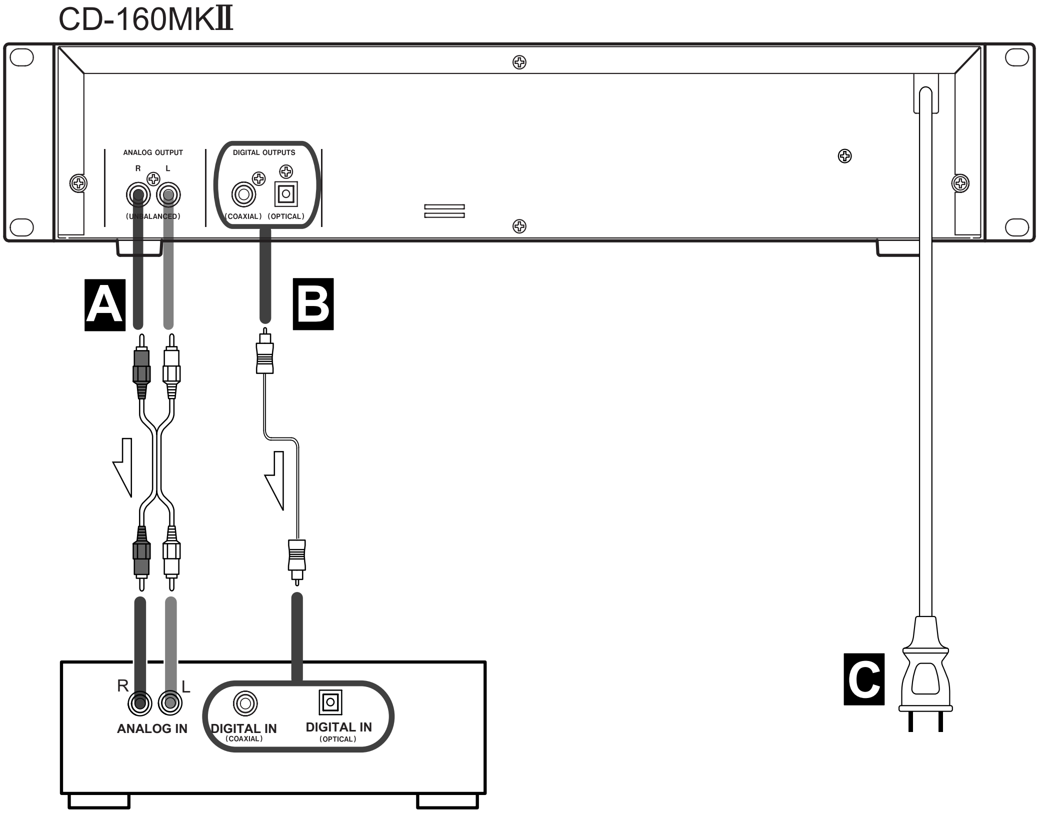
ディスクの時間情報表示します。

また、MP3のサーチモードではトラック表示部と併せて曲名やフォルダー名を表示します。

第3章　接 続

⚠ 接続時の注意

- 電源プラグをコンセントに差し込むのは、ほかの全ての接続を終えてからにしてください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、その説明に従って接続してください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。また、アンプとの接続コードを電源コードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。



A ANALOG OUTPUT端子(RCA ピンジャック)の接続

RCAケーブルを使ってアンプのアナログ入力端子と接続してください。

Rが右チャンネル、Lが左チャンネルです。白のピンプラグを白（L）ジャックに、赤のピンプラグを赤（R）ジャックに接続してください。

最大出力レベルは＋6 d BVです。

B DIGITAL OUTPUT端子(コアキシャルRCAピンジャック、またはオプティカルコネクター）の接続

同軸デジタルケーブル（コアキシャル)、または光デジタルケーブル（オプティカル）を使ってアンプのデジタル入力端子と接続してください。

ご注意

- 接続する場合は、コアキシャル、またはオプティカルのどちらか一方で行なってください。
- デジタルダビング時は本機にセットしたディスクの再生準備が完了してからレコーダーの録音を開始するようにしてください。
- デジタルダビング時、自動的にトラック番号を更新させて録音したい場合は、レコーダー側オートトラックの設定をレベル検出モードでご使用ください（レコーダーによっては、オートトラックON/OFF設定のみで、レベルで検出するかトラックの切り替わりを検出して行うかは自動認識するタイプもあります)。
- 本機のデジタル出力信号にはトラック情報が付加されていませんので、使用されるレコーダーによっては自動的にトラック番号を更新させる録音が出来ない場合があります。このような時はアナログ接続でご使用ください。

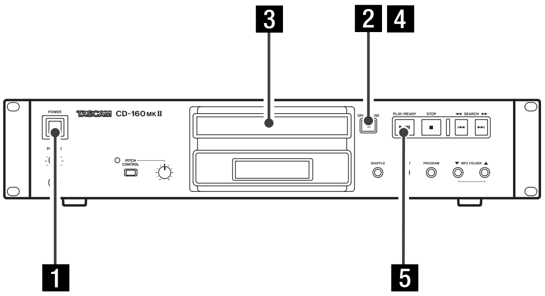
C 電源コード

ほかの全ての接続が終わってから電源コードのプラグを交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

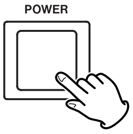
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。

電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

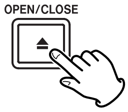
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。



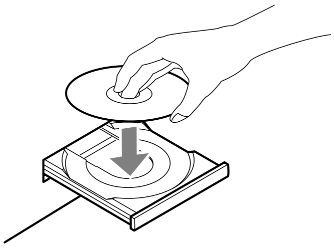
1 POWERスイッチを押して電源を入れます。



2 OPEN/CLOSEボタンを押します。

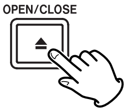


3 レーベル面を上にしてディスクをトレーにセットします。



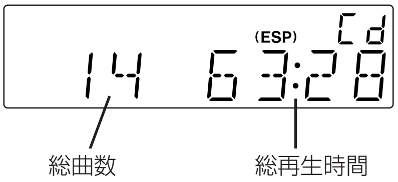
- 絶対に複数のディスクを重ねてセットしないでください。
- ディスクのセット位置がずれていると、トレーが開かなくなる可能性があります。ディスクが正しくセットされていることを確認してからトレーを閉めてください。
- 無理やりトレーの開閉をしないでください。

4 OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを閉じます。



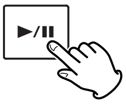
- ディスクデータの読み込みに数秒かかります。曲の総数と総再生時間が表示されるまでは操作ボタンを操作しないでください。
- トレーにディスクがセットされていないと "NO DISC" が表示されます。

CDをセットした場合の表示



MP3ディスクをセットした場合の表示

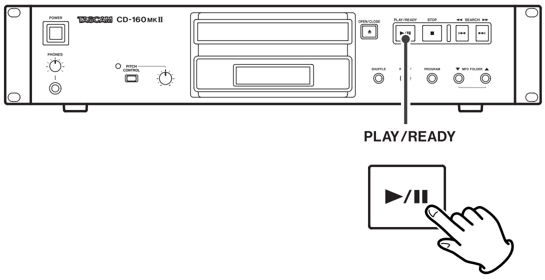
5 再生/一時停止（►/II）を押して再生を始めます。



ディスクの１曲目から再生が始まります。

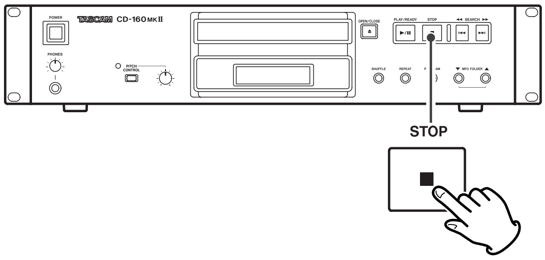
- MP3ファイルをフォルダ分けせずに保存すると、自動的にRootフォルダに入れられます。このようなMP3ディスクの場合は、Rootフォルダ内の１曲目から再生が始まります。
- 全ての曲の再生が終わると自動的にプレーヤーは停止します。

再生を一時停止するには



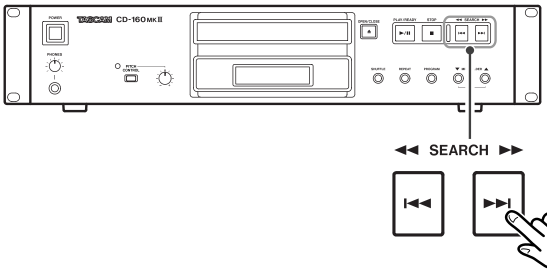
再生/一時停止（►/❚❚）を押すと再生が一時的に停止します。再生/一時停止（►/❚❚）をもう一度押すとふたたび再生が始まります。

再生を停止するには



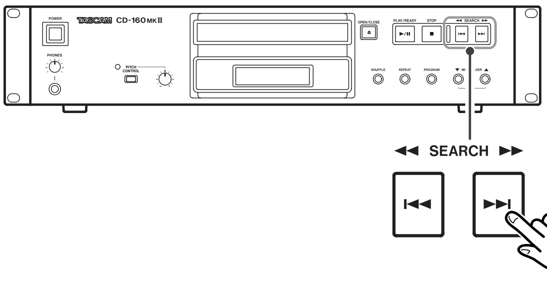
ストップボタン(■)を押すと再生が停止します。

聴きたい箇所をすばやく探し出すには



再生中にスキップボタン（⏮/⏭）を押します。聴きたい箇所が見つかったらボタンから指を離してください。

前の曲/次の曲へスキップするには



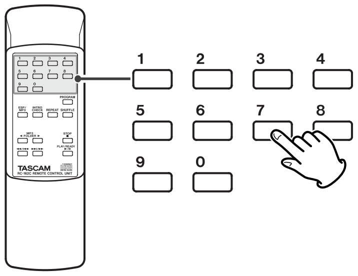
再生中にスキップボタン（⏮/⏭）を聞きたい曲が見つかるまで繰り返し押してください。見つけた曲の頭から自動的に再生が始まります。
停止中にもスキップボタンは機能します。この場合は、聴きたい曲を見つけたら、再生/一時停止ボタン（►/❚❚)）押して再生を始めてください。

- 再生中に ⏮ ボタンを一度押すと、今聴いている曲の頭からふたたび再生が始まります。前の曲へ戻るには ⏮ ボタンを２回押してください。
- プログラム再生中は、スキップの対象となるのはプログラムされている曲に限られます。

ダイレクト再生

停止中もしくは再生中にリモコンの数字キーで聴きたい曲を呼び出してすぐに再生することができます。

数字キーで聴きたい曲を選んで再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押します。選んだ曲の再生がすぐに始まります。

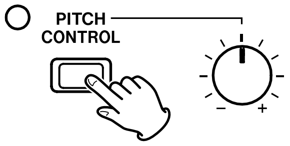


例えば曲番号35の曲を聴くには、3を押してから5を押します。
曲番号が1～9の曲の場合は直接その番号を押してください。最初に0（ゼロ）を押す必要はありません。

- シャッフル再生中とプログラム再生中は、ダイレクト再生機能はご利用できません。

ピッチを変えるには

PITCH CONTROLボタンを押すと、ピッチコントロールモードがオンになりLEDが点灯します。



つまみを右に回すと、0～＋12%の範囲で再生速度が速くなります。つまみを左に回すと、0～－12%の範囲で再生速度が遅くなります。

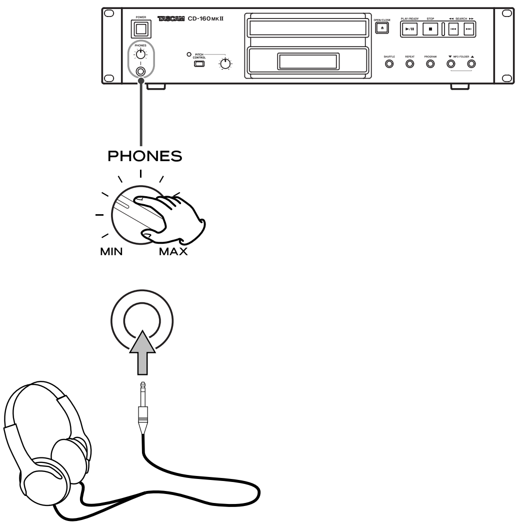
- 再生中急激にピッチを変えると、ノイズが発生することがあります
- ピッチコントロール使用時は、DIGITAL OUT端子から信号は出力されません。

ヘッドホンで聴くには

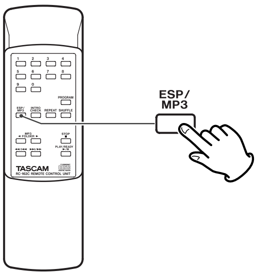
お手持ちのヘッドホンのプラグをPHONESジャックへ差し込んで、LEVELつまみで音量を調節してください。

ご注意

ヘッドホンを接続する前に必ずヘッドホンの音量設定を下げてください。また、ヘッドホンを装着してからPHONESジャックにヘッドホンを差し込むと聴覚にダメージを与える恐れがありますので避けてください。



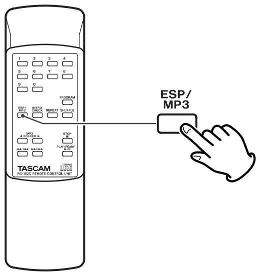
ESP（音飛び防止機能）



音楽データをバッファーメモリーに読み込むことによって音飛びを防止する機能です。
CDの再生中にESPボタンを押すと、ディスプレイに"40 SEC"（40秒）の表示が短く出たあとESPインジケータが点灯します。

- 初期設定は"**OFF**"です。
- バッファーメモリーに音楽データを読み込んでいる間、ESPインジケータは点滅します。
- 本機を振動のない場所の水平で安定したテーブルなどの上に設置している場合は、通常ESP機能を使う必要はありません。
- CD再生時は、ESPとピッチコントロールの両方かまたはどちらか一方がオンの場合はDIGITAL OUT端子から信号は出力されません。
- MP3再生時（MP3再生時は常にEPS オン）は、ピッチコントロールをオンにするとDIGITAL OUT端子から信号は出力されませんが、ピッチコントロールをオフにすると信号は出力されます。

MP3情報を表示させるには



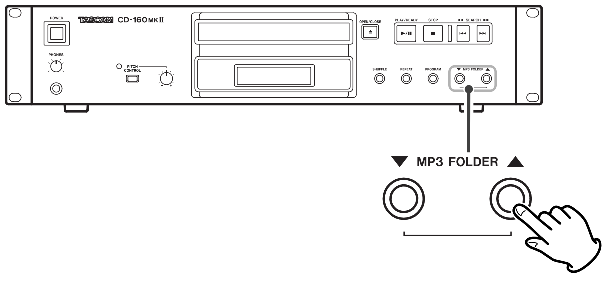
MP3ディスクの再生中にMP3ボタンを１秒以上押してください。今再生中の曲に関する情報が以下の順でディスプレイに表示されます。

ファイル名 → タイトル → アーティスト → アルバム

- ディスクにMP3情報が記録されていない場合は"NONE"が表示されます。
- ディスクにMP3情報が記録されていても本機が読み込めない場合は"UNKNOWN"が表示されます。

もう一度MP3ボタンを押すとディスプレイは通常の表示モードに戻ります。

次のフォルダへスキップするには



MP3 FOLDERボタンを押すと次のフォルダへスキップします。

MP3 ファイルのディレクトリとトラックについて

本機はディスク上の各MP3ファイルを「トラック」として扱います。MP3ファイルを収録したCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3ファイルをディレクトリ（フォルダ）に収納しているものがあります。さらに、いくつかのディレクトリをまとめて1つのディレクトリに収めるといった、複数階層構造のものもあります。

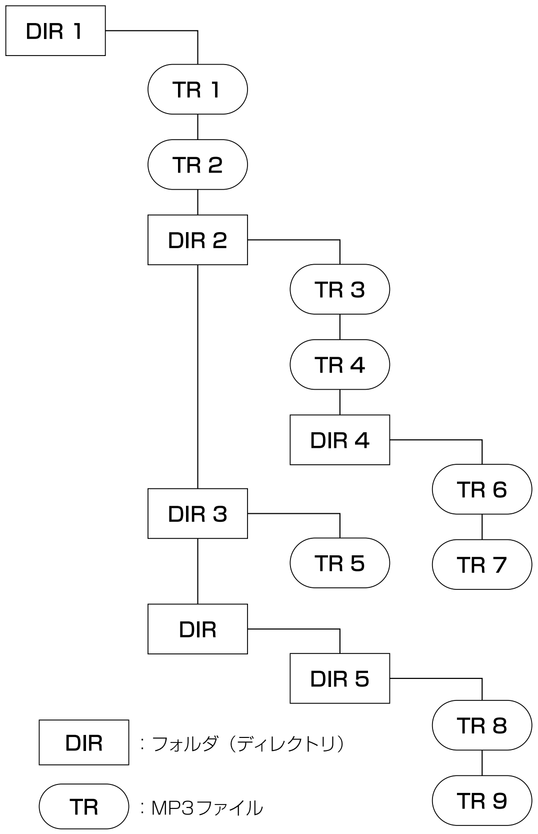
本機では、各MP3ファイルにトラック番号を付けて管理します。トラック番号は、第1階層、第2階層、第3階層... というように、階層の浅いディレクトリ内のファイルから順に割り当てられます。またディレクトリ番号もこの順に従って割り当てられます。

MP3ディスクを通常再生すると、オーディオCDと同じように、トラック番号順に再生されます。

ビットレート：32kbps－320kbps（推奨値：128kbps以上）
サンプリングレート：32kHz/44.1kHz/48kHz、モノ／ステレオ

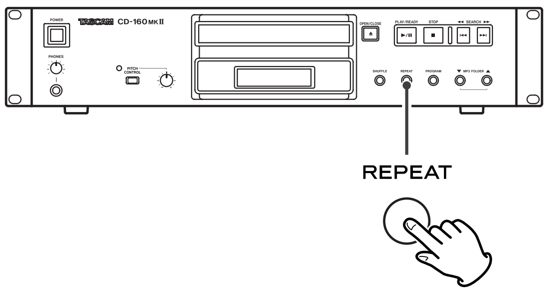
ご注意

すぐ下の階層にMP3ファイルが収納されていないディレクトリにはディレクトリ番号が割り当てられません。たとえば下図のような構成のディスクの場合、ディレクトリ5の上の階層のディレクトリには番号が割り当てられません。



〈MP3ディスクの構成例〉

第5章　リピート再生



REPEATボタンを押すたびにリピート再生モードが以下の順で切り替わります。

CDがセットされている場合

→REPEAT(1曲リピート) → REPEAT ALL(全曲リピート) → オフ →

MP3ディスクがセットされている場合

→REPEAT(1曲リピート) → REPEAT ALL(全曲リピート) → REPEAT ALBUM(アルバムリピート) → オフ →

- リピート再生は以下のいずれかのボタンを押すと解除されます。

  ■（停止）、INTRO CHECK、POWER、OPEN/CLOSE

1曲リピート再生 (REPEAT)

再生中にREPEATボタンを1回押してください。
"REPEAT"インジケータが点灯して、今聴いている曲がリピート再生されます。
リピート再生中にスキップボタン（⏮/⏭）を押すとスキップ先の曲がリピート再生されます。
停止状態から直接リピート再生をスタートさせることもできます。
REPEATボタンを押し、スキップボタン（⏮/⏭）で曲を選択してから再生/一時停止ボタン（►/❚❚）を押してください。

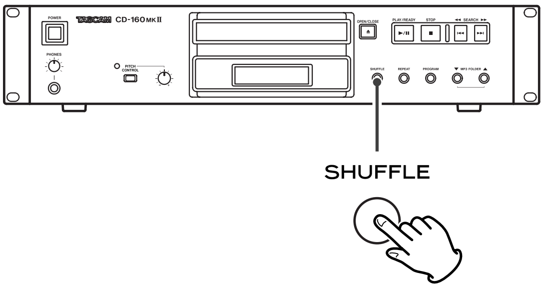
全曲リピート再生(REPEAT ALL)

REPEATボタンを2回押してください。
"REPEAT ALL"インジケータが点灯して全ての曲がリピート再生されます。

アルバムリピート再生(REPEAT ALBUM)

（このリピートモードはCDではご利用できません）
MP3ディスクの再生中にREPEATボタンを3回押します。
"REPEAT ALBUM"インジケータが点灯して、今聴いているフォルダ内の全ての曲がリピート再生されます。

第6章　シャッフル再生



再生中あるいは停止中にSHUFFLEボタンを押すと"SHUFLLE"インジケータが点灯して、収録されている曲をアットランダムに選び出して再生します。

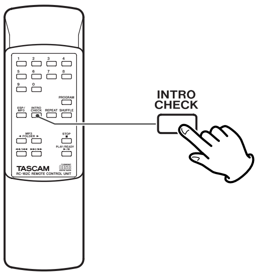
- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、今聴いている曲の再生を中断して、アットランダムに選ばれた別の曲を再生します。I◄◄ ボタンを押すと、今聴いている曲がふたたび頭から再生されます。

- プログラム再生中はシャッフル機能とリピート機能はご利用できません。

- 以下のいずれかのボタンを押すとシャッフル再生は解除されます。

  SHUFFLE、■（停止）、INTRO CHECK、POWER、OPEN/CLOSE

第7章　イントロチェック



再生中あるいは停止中にINTRO CHECKボタンを押します。"INTRO"インジケータが点灯して、収録されている個々の曲の頭の部分（10秒間）だけを再生します。
聴きたい曲が見つかったらもう１度INTRO CHECKボタンを押して通常の再生モードにします。

- イントロチェック中にスキップボタン（I◄◄ / ►►I）を押すと、次あるいは前の曲へスキップします。

- イントロチェックを停止するにはストップボタン（■）を押してください。

- イントロチェック中はリピート再生機能とシャッフル再生機能はご利用できません。

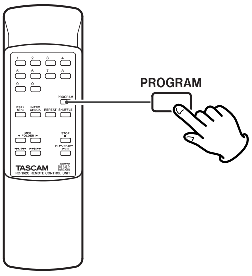
- 以下のいずれかのボタンを押すとイントロチェックは解除されます。

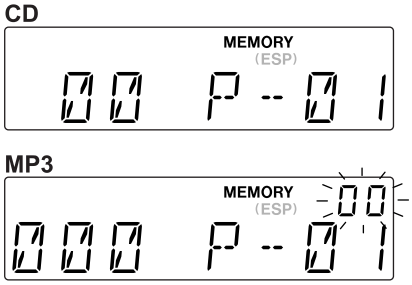
  INTRO CHECK、SHUFFLE、■（停止）、POWER、OPNE/CLOSE

最大64の曲を聴きたい順序で再生することができます。

プログラム再生中にシャッフル機能はご利用できません。

1 停止中にPROGRAMボタンを押します。



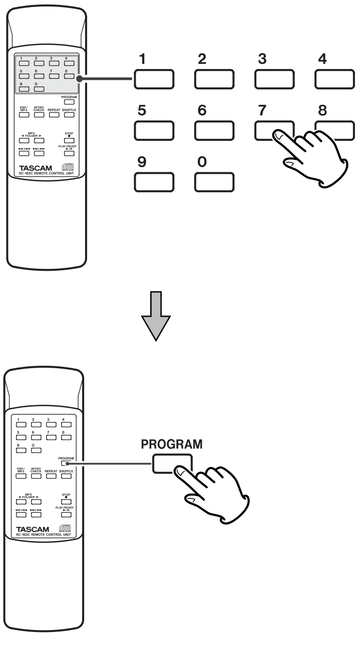


ディスプレイに"MEMORY"インジケータが表示されます

- ストップボタン（■）を押すとプログラムモードは解除されます。

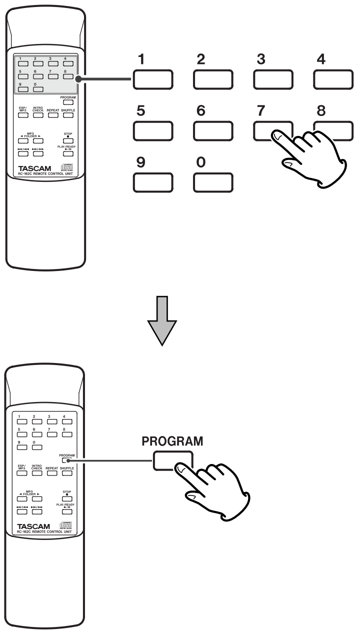
CDをセットしている場合は次の手順を飛ばして 3 の手順へ進んでください。

2 数字キーでフォルダを選んでからPROGRAMボタンを押します。スキップボタン（⏮/⏭）を繰り返し押すことでフォルダを選ぶこともできます。



- フォルダ分けせずに記録したファイル（曲）は"01"（ルート）フォルダに入っています。

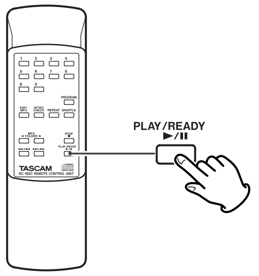
3 数字キーで曲を選んでからPROGRAMボタンを押します。スキップボタン（⏮/⏭）を繰り返し押すことで曲を選ぶこともできます。



選んだ曲がプログラムされて、表示が"P-02"に変わります。

- 手順の 2 と 3（CDの場合は 3 のみ）を繰り返してほかの曲をプログラムします。
- 64曲までプログラムすることができます。

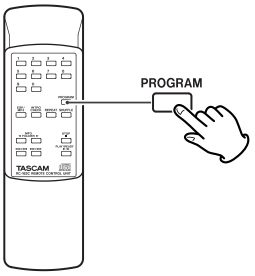
4 好きな曲の全てをプログラムし終えたら再生/一度停止（►/II）を押して再生をスタートさせます。



- プログラムした全ての曲の再生が終了したら（あるいは途中で停止ボタン（■）を押すと）プログラム再生モードが解除されて"MEMORY"表示が消えます。

プログラムした内容は、OPEN/CLOSEボタンを押すかPOWERスイッチを押すまでメモリーに格納されています。メモリーから削除されない限り、PROGRAMボタンに次いで再生/一時停止ボタン（►/II）を押すと、ふたたびプログラム再生がスタートします。

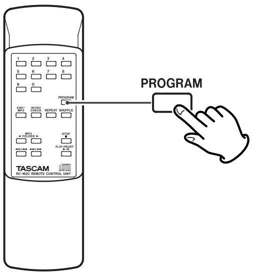
プログラムした順序を確認するには

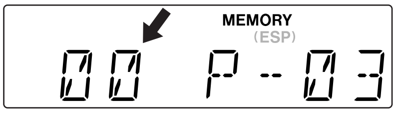


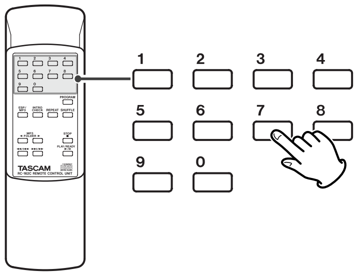
停止中にPROGRAMボタンを繰り返し押します。押すたびにプログラムされている次の曲番号とプログラム順位が表示されます。

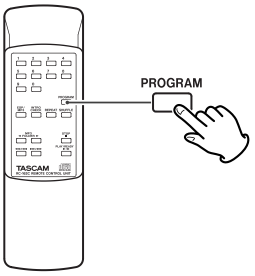
別の曲を追加プログラムするには

停止中にPROGRAMボタンを繰り返し押してディスプレイに"00"を表示させます。数字キーあるいはスキップボタン（⏮/⏭）を使って、追加したい曲の番号を入力して再度PROGRAMボタンを押します。新たに選んだ曲は、すでにプログラムしてあった最後の曲の次に追加されます。









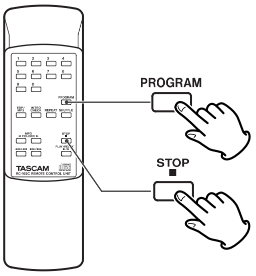
プログラムしてある曲を変更するには

停止中にPROGRAMボタンを繰り返し押して変更したい曲番号をディスプレイに表示させます。

新たにプログラムに組み入れたい曲を、数字キーあるいはスキップボタン（⏮/⏭）を使って選択して再度PROGRAMボタンを押します。

プログラムした内容を削除するには

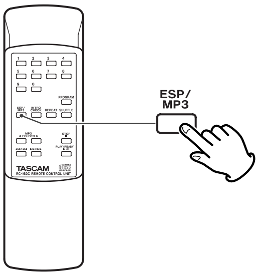
停止中にPROGRAMボタンと停止ボタン（■）を同時に押します。



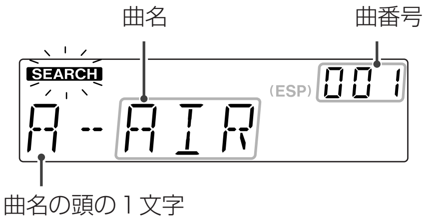
- OPEN/CLOSEボタンかPOWERスイッチを押した場合も、プログラムされた内容は削除されます。

曲名によるサーチ

1 **MP3ボタンを1回押します。**

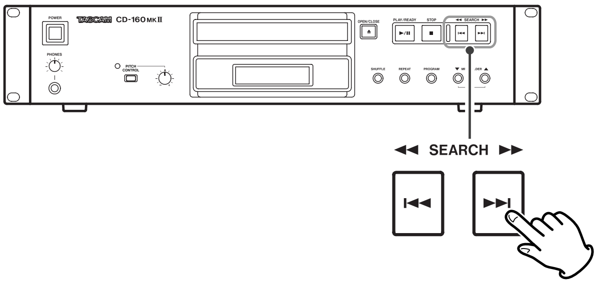


曲名の頭のアルファベット文字と曲名が表示されます。

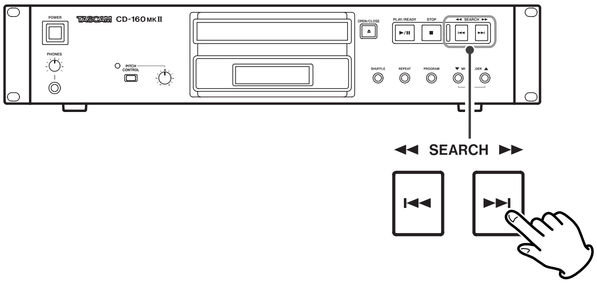


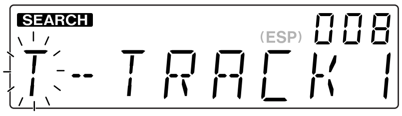
- ここで停止ボタン（■）を押すと通常のモードに戻ります。

2 **スキップボタン(⏮/⏭)を使って、聴きたい曲の頭文字を表示させせます。**

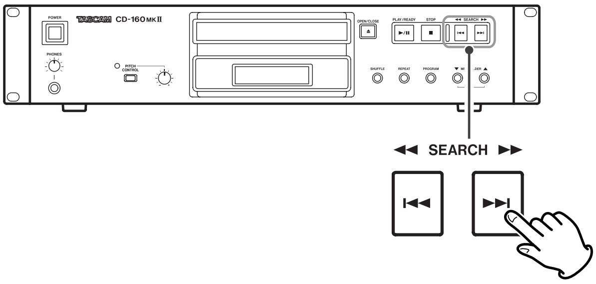


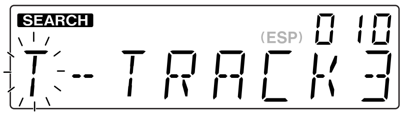
3 **スキップボタン(⏮/⏭)を押し続けて、聴きたい曲の頭文字を点滅させせます。**





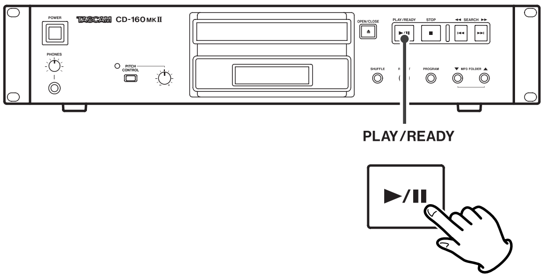
4 **もう1度スキップボタン(⏮/⏭)を押してサーチを開始します。**





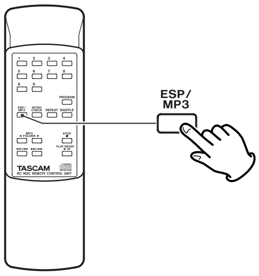
5 **サーチをし終えたら再生/一時停止ボタン（▶/II）を押します。**

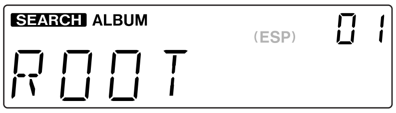
選択した曲の再生がスターします。



特定のフォルダ内の曲をサーチする

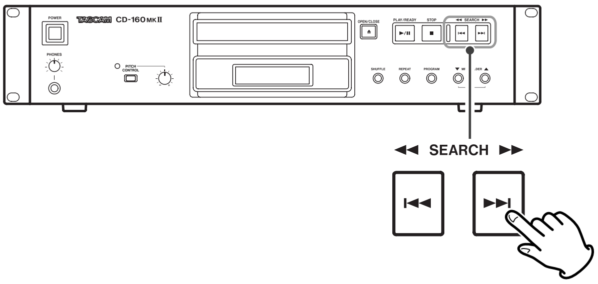
1 MP3タンを2回押します。

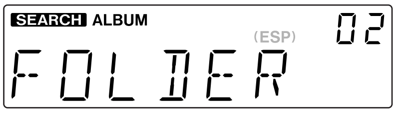




フォルダ名が表示されます。

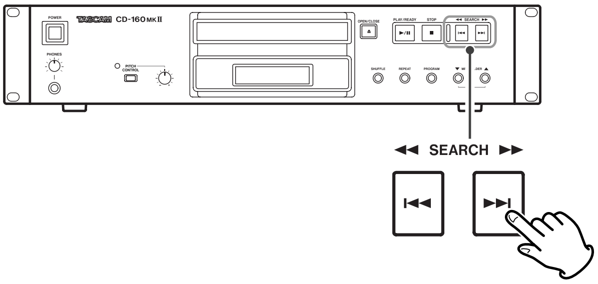
2 スキップボタン(⏮/⏭)を使って、聴きたい曲の入っているフォルダを選び出します。



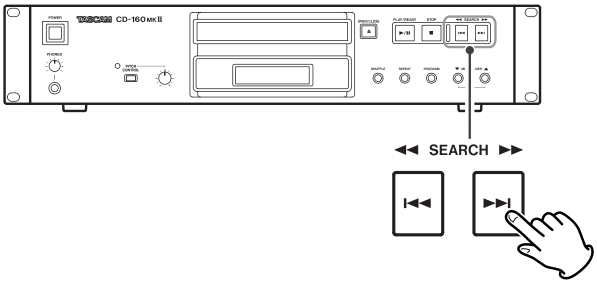


- フォルダ分けせずに記録したファイル（曲）はRootフォルダに入っています。

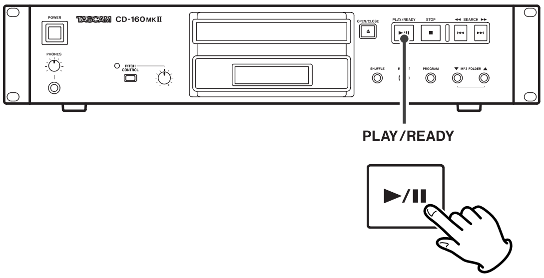
3 スキップボタン(⏮/⏭)を押し続けて、選んだフォルダ名を点滅させせます。



4 もう一度スキップボタン(⏮/⏭)を押して、聴きたい曲を選び出します。



5 再生/一停止ボタン（▶/II）を押します。



選び出した曲の再生がスタートします。

- 手順の **3** と **4** をスキップすると、選択したフォルダ内の1番目の曲から再生がスタートします。

第10章　トラブルシューティング

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をチェックしてみてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない

- ➡ 電源コンセントへの接続を確認してください。もしほかの機器のスイッチ付きの電源供給ソケットに接続している場合は、そのスイッチがオンになっているかどうか確認してください。電源コンセントにデスクランプや扇風機などを接続して、電気が来ていることを確認してください。

リモコンが効かない

- ➡ 本体の電源を入れてください。
- ➡ 電池が消耗していたら新しい電池と交換してください。
- ➡ リモコンは 5 メール以内の距離から、本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。
- ➡ リモコンと本体との間に障害物があればそれを取り除いてください。
- ➡ 本体に強い照明があたっている場合はその照明を消してください。

音が出ない

- ➡ アンプとの接続を確認してください。
- ➡ アンプの設定を確認してください。

再生できない

- ➡ ディスクは記録面を下にしてセットしてください。
- ➡ ディスクが汚れていたらきれいに拭き取ってください。
- ➡ セットされているディスクが空かも知れません。別のディスクをセットしてみてください。
- ➡ ディスクの状態によっては再生できないCD-R/RWディスクがあります。別のディスクをセットしてみてください。
- ➡ ファイナライズされていないCD-R/RWディスクは再生できません。お手持ちのCDレコーダーでファイナライズしてください。

音が飛ぶ

- ➡ 振動のない水平で安定したところへ設置してください。
- ➡ ディスクが汚れていたらきれいに拭き取ってください。
- ➡ 傷がついたり変形したディスクは使用しないでください。

以上のチェックを行っても問題が解決しない場合は、一旦コンセントから電源コードを抜いてから差し込み直してみてください。

第11章　仕様

定格

形式：　CD プレーヤー
使用ディスク：　コンパクトディスク(12 cm, 8 cm)
再生可能ディスク：　CD ／ CD-R ／ CD-RW
再生可能フォーマット：　オーディオCD (CD-DA)、MP3
音声チャンネル数：　2 チャンネル
量子化ビット数：　16 ビット／チャンネル
サンプリング周波数：　44.1kkHz

アナログ出力

ANALOG OUTPUT（アンバランス）
コネクター：　RCA
規定出力レベル：　− 10 dBV
最大出力レベル：　+6 dBV
出力インピーダンス：　1 kΩ

PHONES 出力
コネクター：　ステレオホンジャック
最大出力レベル：　20 mW ＋ 20 mW（32 Ω負荷時）

デジタル出力定格

DIGITAL OUTPUT (OPTICAL)
コネクター：　オプティカル
フォーマット：　IEC60958-3（S/PDIF）
DIGITAL OUTPUT(COAXIAL)
コネクター：　コアキシャル
フォーマット：　IEC60958-3（S/PDIF）

ピッチコントロール：　± 12 %

アナログ出力電気的特性

再生周波数特性：　20 〜 20 kHz, ±2.0 dB
S/N 比：　85 dB 以上
(20 kHz LPF ＋ A-weighted)
ダイナミックレンジ：　80 dB 以上
(20 kHz LPF, A-weighted)
歪率（THD+N）：　0.03%以下
(200 Hz HPF ＋ 20 kHz LPF)
チャンネル
セパレーション：　70 dB 以上［1kHz］
ワウフラッター：　測定限界値以下

一般仕様

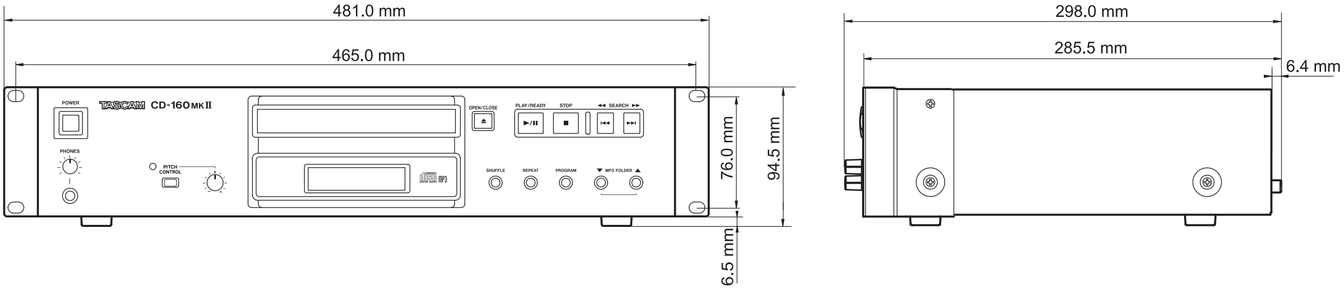
電源：　AC100 V 、50/60 Hz
消費電力：　10 W
外形寸法：　481.0(幅)× 94.5 (高さ)×
298 (奥行) (mm)
質量：　4.2 kg
動作温度：　5 〜35 ℃
設置時傾斜：　5 度以内
付属品：　リモコン (× 1)、
単三電池 (× 2)、
取扱説明書 (× 1)、
ラックマウントビスキット (× 1)、
保証書 (× 1)

＊アナログ出力電気特性は、EPS OFF時の値です。

＊ 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

＊ 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

外形寸法図



この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術　〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
http://www.tascam.jp/

Printed in China